

令和3年度

第19回大分県教育委員会 議事録

日 時 令和4年1月13日（木）
開会13時35分 閉会14時41分

場 所 教育委員室

令和3年度
第19回大分県教育委員会

【議 事】

(1) 議 案

第1号議案 令和3年度大分県教育実践者の表彰について

(2) 報 告

① 令和3年度プレゼンテーションコンテストについて

② 久住高原農業高等学校のVR学校紹介について

③ 青少年の家における体験活動について

④ ビブリオバトル大分県大会について

(3) 協 議

① 令和4年度学校栄養職員を対象とした栄養教諭採用選考試験について

(4) その他

【内 容】

1 出席者

委 員	教育長	岡 本 天津男
	委 員 (教育長職務代理者)	林 浩 昭
	委 員	岩 崎 哲 朗
	委 員	高 橋 幹 雄
	委 員	鈴 木 恵 代
	委 員	岩 武 茂 代
事務局	教育次長	渡 辺 登
	教育次長	久保田 圭 二
	教育次長	米 持 武 彦
	教育改革・企画課長	重 親 龍 志
	教育デジタル改革室長	神 崎 文 隆
	教育人事課長	大 和 孝 司
	社会教育課長	後 藤 秀 徳
	九重青少年の家所長	須 股 恵美子
	教育改革・企画課 主幹 (総括)	門 野 秀 一
	教育改革・企画課 主査	末 松 敬 雅

2 傍聴人

6 名

開会・点呼

(岡本教育長)

テレビカメラ1台が撮影を行いますので、よろしく申し上げます。

委員の出席確認をいたします。

本日は、全委員が出席です。

なお、新型コロナウイルス感染防止の観点から、議題ごとに、関係課長のみ入室しますので、よろしく申し上げます。

(岡本教育長)

まず、始めに、昨年12月22日付けで、教育委員に再任されました林 浩昭(はやし ひろあき)委員から、一言ご挨拶をいただきたいと思ひます。

(林委員)

ただ今、ご紹介をいただきましたように、先の県議会で再任を承認していただきました。引き続き、よろしくお願ひいたします。

振り返りますと、私が最初に教育委員になったのは、平成18年(2006年)の9月です。ずいぶんと長い間、教育委員の仕事をしてきたと感じていますが、初心に立ち返りまして、子どもたちの夢の実現に向けて頑張っていきたいと思ひます。

今後とも、何卒よろしくお願ひいたします。

(岡本教育長)

ありがとうございました。

(岡本教育長)

それでは、ただ今から、令和3年度第19回教育委員会会議を開催します。

署名委員指名

(岡本教育長)

本日の議事録の署名については、岩崎委員にお願いいたします。

会期の決定

(岡本教育長)

本日の会議はお手元の次第のとおりです。会議の終了は14時45分を予定しておりますので、よろしくお願ひいたします。

議 事

(岡本教育長)

始めに、会議は原則として公開することとなっておりますが、第1号議案及び協議①については、人事に関する案件ですので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定により、これを公開しないことについて、委員の皆さんにお諮りいたします。

賛成の委員は挙手をお願いします。

(採 決)

(岡本教育長)

第1号議案及び協議①については、非公開といたします。

(岡本教育長)

本日の議事進行は、始めに公開による議事を行い、その後、非公開による議事を行います。

【報 告】

① 令和3年度プレゼンテーションコンテストについて

(2課室〔教育改革・企画課、教育デジタル改革室〕入室)

(岡本教育長)

それでは、報告第1号「令和3年度プレゼンテーションコンテストについて」教育デジタル改革室長から説明をしてください。

(神崎教育デジタル改革室長)

令和3年度1人1台端末を活用した小・中学生プレゼンテーションコンテストの開催について、昨年7月にも報告しましたが、出場校が決定しましたので、改めて報告します。

資料1ページをご覧ください。

開催日時は、令和4年2月19日(土)13時30分から、オンライン配信します。今年度は、全ての小・中学校の児童生徒に、1人1台端末を活用できる環境が整備されたこともあり、過去最高となる133チームの応募がありました。

書類審査の結果、中学生の部、小学生の部各6チームが、日頃の思いや考え、学習の成果などの趣向を凝らしたスライドなどを活用して発表します。

資料2ページには、タイトルを掲載していますが、身近な地域課題に加え、心

理や人権、端末利用に関する事など、様々なテーマで発表を行いますので、教育委員の皆さまも、是非、オンラインでご視聴いただけると幸いです。

以上で説明を終わります。

(岡本教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(林委員)

子どもたちがタブレット端末を使い、プレゼンテーションをして自分たちの意見を発表して競い合うということによいですか。

(神崎教育デジタル改革室長)

はい。そのとおりです。

(林委員)

発表の中でパワーポイントなども使うと思います。新しいプレゼンテーションの仕方もあると思いますが、今年はどのような形のプレゼンテーションがありましたか。

(神崎教育デジタル改革室長)

応募をしやすいするために、今回は、事前に映像を提出させていません。書面審査で出場校を決定しましたので、画像は見せていません。発表の途中で映像を流したり、写真やスライドなどを多様に活用するのではいかと推察しています。

(林委員)

楽しみにしています。わかりました。

(高橋委員)

一般の方や私たちが見られるようになるのですか。配信するということが書かれていますが、映像をDVDなどに保存されるのですか。

(神崎教育デジタル改革室長)

後日のオンデマンド配信は行いません。著作権、肖像権などの確認・処理をした後、最終的には、優勝チームの動画のみを公開する予定です。

(高橋委員)

小・中学校の児童生徒の皆さんが、どのような考えを持っているのか知りたいので、できる範囲で情報をいただければと思います。

(岡本教育長)

そこは、配慮をお願いします。

(神崎教育デジタル改革室長)

わかりました。

② 久住高原農業高等学校のVR学校紹介について

(2課室〔教育改革・企画課、教育デジタル改革室〕入室)

(岡本教育長)

次に、報告第2号「久住高原農業高等学校のVR学校紹介について」教育デジタル改革室長から説明をしてください。

(神崎教育デジタル改革室長)

「久住高原農業高等学校のVR学校紹介について」説明します。

資料の1ページをご覧ください。

導入目的ですが、県立高校で、唯一全国募集を実施している久住高原農業高校について、昨年新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、今年度は、県外での学校説明会があまりできておりません。

このため、学校や寮などの施設等について、VR技術を活用して、県内外の生徒や保護者などへ幅広く紹介し、進路選択の参考としてもらうために作成したものです。

本日から、学校のホームページに掲載するとともに、今後、県内外での学校説明会などで活用することとしています。

それでは、導入したVRコンテンツの特徴等について、当室室長補佐の是永が説明します。実際のVR学校紹介のデモンストレーションもご覧ください。よろしくをお願いします。

(是永室長補佐〔教育デジタル改革室〕)

それでは、私の方から実際のサイトをご覧くださいながら説明します。今回のサイト制作にあたっては、九州電力ドローンサービスのご協力をいただいています。

今、ご覧いただいている画面は、従来の久住高原農業高校のHPになります。学校HPのバナーをクリックしてVRのサイトに移行するようになっています。資料2ページ、最初の画像と同じものですので、後ほどご覧ください。

上のメニューは、撮影エリアごとに分類されており、マウスのカーソルを合わせて興味のあるエリアを自由に選んで、移動することができます。

このサイトは、VR技術で作られていますので、自由にマウスを使って自分の

見たい方向の景色を見ることができます。

進める方向には、矢印が出てきますので、これをクリックして次のシーンに進みます。進行方向を示すものは、矢印の他に看板も用意していますので、看板をクリックしても次のシーンに進むことができます。

最初に、校舎の上から撮影した空撮の画像を見てみます。久住という恵まれた場所ですので、本当に綺麗な景色が撮れております。撮影は、10月の下旬、11月上旬に実施しました。学校だけでなく、周りの景観も確認することができます。学校と周辺地域との位置関係も確認できるのではないかと思います。

玄関から矢印マークに沿って、進んでいきたいと思えます。玄関を少し回転してみせると、Movieというポイントがあります。クリックすると、以前に教育庁チャンネルで使用した動画を見ることができます。

では、教室の方に移動してみます。左下の「マップ」と呼んでいる場所をクリックすると、マップ（校内地図）が中央に拡大され、行き先の撮影エリアに移動できます。

では、バイオ室・実験室に移動してみます。左上に現在の場所が表示されますので、そこを見て確認してください。

バイオ室には、専門機器が整備されており、実験室は、一見すると殺風景に見えますが、ポイントをクリックすると、生徒が普段の授業を受けている風景がポップアップで現れます。

では、農場に移動したいと思えます。水田となっていますが、時期が稲を刈り取った後になっていますので、ポイントをクリックすることで、稲刈りの様子、通常の授業の様子を見ることができます。

次に、温室をご覧ください。このとき収穫祭の前でしたので、綺麗な花が一面に咲いており、360度カメラで撮っておりますが、綺麗に並んだ花の様子が見られるのではないかと思います。こちらが温室の様子となります。

次に、牛舎に移動したいと思えます。牛舎では、また、Movieというポイントがあります。クリックすると子牛の世話をする生徒の様子も見ることができます。

放牧地に移動します。牛を放牧している放牧地の様子は、左上の「ドローン撮影」という緑のマークがありますので、こちらをクリックしてドローン撮影の空撮をご覧ください。

では、県外生が最も気になるであろう、学生寮を紹介します。

玄関です。ポイントでは、食事の様子などを見ることができます。中に入ってみます。

談話室です。生徒が生活する個人の部屋も360度見ることができますので、様子がよくわかるのではないかと思います。

これはランドリーで、次は、食堂です。中に入ってみますと、およそ80席が用意されているのがわかります。

浴室も気になる場所ですので、中まで見られるようになっています。

なお、生徒の個室から見える景色も撮影しており、見事な景色を一望できます。

いったん外に出まして、体育館に移動してみます。ステージ横の校歌を掲示しているところに近づいてみます。スピーカーのマークをクリックすると、校歌が流れる仕組みになっています。学校の雰囲気を感じ取れるようになっています。

では、最初の校門付近に戻りまして、上空から校舎付近の全景をドローン撮影した動画をご覧いただきながら説明を終わりたいと思います。

ありがとうございました。

(岡本教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(林委員)

このサイトに全国の人をどうやって誘導するのですか。

(神崎教育デジタル改革室長)

基本的には、高校教育課と学校からの情報発信が主となりますが、これまでの学校への訪問、大阪や東京での説明会などで、つながりのある教員の方へ案内しまして、誘導したいと考えています。

(林委員)

県内の中学生には、どのように対応しますか。彼らのタブレット端末から見るができると思いますが、いかがでしょうか。

(神崎教育デジタル改革室長)

学校のHPに掲載していますので、当然、タブレット端末からも見るができます。学校説明会や学校見学の際にも活用する予定にしています。

(岡本教育長)

生徒がタブレット端末を持っているので、何らかの方法で情報を送ることができると思います。

(高橋委員)

VR撮影のときにドローンを飛ばしていますが、牛とかはデリケートなのでストレスを感じることはなかったのですか。

(神崎教育デジタル改革室長)

実際に、ドローンが牛の近くを通った映像もありますが、通常でもカラスなどが飛んでいる中ですので、あまり気にしている様子はありませんでした。そんなに接近して撮影しているわけでもありません。

(高橋委員)

「G o o g l e M a p」のように上からも見ることができ、すごくわかりやすい動画だと思います。是非、林委員のご発言のとおり、県外に発信できるように考えてほしいです。

(鈴木委員)

大変素晴らしいものができていると思います。私が勤務している会社において、以前、九州電力から測量にドローンを使うことの提案を受けたことがあります。3Dで立体的にできるので、人が入って行けないところの測量ができるという提案をいただいたので、そういうところを国東高校の方で使えるのではないかと思いますので、そこでもつながってほしいです。

私は、今年度、受験生の子どもがいて、高校に見学に行きましたが、教室の窓がすりガラスになっており、中が見えず、様子がわからなかったということがありました。

全ての高校において、このようなVR紹介ができるとよいと思います。いつでも、誰でも、どこでも見られるということは大事だと思いますので、全ての高校でやっていただけるとありがたいです。

(岩崎委員)

今後、バージョンアップする予定があるのですか。

(神崎教育デジタル改革室長)

今回は、基本的に買取りになっていますので、これで完結しております。映像の追加や組み替えは、別途、料金が発生しますが、リニューアルできると伺っています。

(岩崎委員)

その際に考えてもらいたいことがあります。入学するかどうかを考えている生徒は、学校の雰囲気を知りたいはずだと思います。教室の中の状況等で生徒が特定できる場合にどのようなところまで撮影できるかという問題はありますが、そのあたりの配慮を行った上で、学校の紹介ができれば、より生徒や保護者等が知りたい情報が伝わるのではないかと思いますので、検討してください。

(神崎教育デジタル改革室長)

検討します。ご意見、ありがとうございます。

③ 青少年の家における体験活動について

(3課所〔教育改革・企画課、社会教育課、九重青少年の家〕入室)

(岡本教育長)

次に、報告第3号「青少年の家における体験活動について」九重青少年の家所長から説明をしてください。

(須股九重青少年の家所長)

九重青少年の家が体験活動の推進において、特に力を入れているプラネタリウムを活用した取組について、説明します。

まず、九重青少年の家の紹介を簡単にします。次に、運営方針の学校支援・体験活動提供について説明し、そして、昨年度末にリニューアルしたプラネタリウムの説明、終わりに、今後の予定について説明します。

当施設の面積は、東京ドーム約3個分あり、広大な敷地で活動しています。施設内についてですが、現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、半数の定員で運営しています。8人部屋を1部屋4人で対応しています。

浴室はシャワーの数の15人程度で運営しています。温泉になっており、温泉熱を利用した館内暖房は、当施設の売りの一つです。ホテルと違って、どこの施設もこの時期は、館内が冷え切っていて、玄関を入れてすぐ暖かいのは、九州では大変珍しいです。

続きまして、運営方針から2つ報告します。

1つ目に、学校支援、第2の学校として充実した支援を行っていることです。集団宿泊活動を通じた教育課程への対応として、学校のねらいに沿った支援を打合せ段階から行い、活動が教科と結びつくよう、指導主事や社会教育主事が手厚く支援をしています。そのことが功を奏して、小学校では、昨年度の2倍の利用がありました。アンケートにも「目的に沿いながら活動プログラムを実施することができました。」や「施設と自然のおかげで不登校児の明るい笑顔と行動が見られました。」とあり、支援してよかったと感激する瞬間です。

また、自己肯定感の向上を目指した社会教育課所管の事業「豊かな体験活動推進事業」では、希望した13の小学校中11校が九重青少年の家を選んでいただいています。

この「滑れた！」という笑顔を学校は見たいのです。また、「大丈夫？」といったわる児童を見ることができ、その姿を特別活動の振り返りや国語の新聞作りで発表するという活動をしています。

2つ目に、体験活動の提供です。

当施設は、阿蘇くじゅう国立公園内に位置しているため、春夏秋冬の登山や九重ならではのスキー活動など、豊かな自然を生かした活動を行っています。

画像のお父さんはスマートフォンを持っていますが、視線は我が子を見ています。スマートフォンより我が子です。右の画像は、水中観察眼鏡でのぞいている子どもが頭から落ちないように背中を持っています。家庭教育をしてきてよかつ

たと思いますし、このような写真を撮影する職員を誇りに思います。

これは、不登校児童生徒を対象としたキャンプでの様子です。背中側が斜面になっていて、手をつながないと後ろに滑り落ちるので、職員が手をつないだ子が隣の子の手を握り、手を握られた子は、後から来た女兒の手を握ろうと手を出している場面です。この後、4人が手を握ってリフトに乗りました。初対面でも助け合える活動がスキーです。

様々な体験を提供している効果で、イベント募集時に、いち早く情報をお届けする「このえアドベンチャークラブ」会員の登録者は、昨年度に比べて、今年度は2.5倍の数になりました。

以後の全ての数値は、令和3年12月末現在のものとなっています。

体験活動で、特に好評をいただいている活動は、2つあります。

1つ目の活動は、四季の星座や天文現象を解説するプラネタリウム視聴です。その際に、プラネタリウムで理科の授業ができるとよいとの声を聞きます。

2つ目の活動は、宿泊した夜に天体望遠鏡で観察する、星空観察です。「星空が美しい。天の川がくっきり見える。」「ここだけの特別な体験だ。」「理科と関連した解説をしてほしい。」という声がありました。

このような声がある中、開設当初から使用してきたプラネタリウムが老朽化し、要望に応えられなかったため、令和3年3月末にリニューアルをしました。費用は、7,070万円です。私たちも、「理科と関連した内容をプラネタリウムで解説した後、外に出て実際の星空で観察したら興味関心が持続し観察意欲も向上する」と考えていました。

プラネタリウムと実天観測を組み合わせる活動を進めた効果で、「プラネタリウムで見たとおりに星が並んでいる！」との声を聞くことができ、組み合わせる活動した人数も10倍になりました。また、プラネタリウムを視聴した人数は、本年度3,400人を超えています。

設備の特徴としては、

- ①四季折々の基本ストーリー10本に加え、職員が解説に使用したデータを一つのストーリーや教育番組として保存できるようになりました。そのため、無限に新しいストーリー作成が可能になりました。既存の番組10本、作成した番組が70本あります。
- ②「ハヤブサ」や「イトカワ」、国際宇宙ステーション等の最新のデータがあり、宇宙開発関連の解説が可能になりました。
- ③主催事業としての毎月第一土曜日の公開解説に加え、星空観察会では雨天でも中止にせず、プラネタリウムでその日の星空や天文現象を解説できるようになりました。

また、昨年11月に「Zoom」による配信システムを新たに導入し、プラネタリウムのデータを学校にお届けすることが可能になりました。理科で学ぶ内容をオンライン配信するのは、11月現在ではありませんが、全国初の取組です。著作権上、学校のみ配信可能にしているため、理科の授業やクラブ活動等でニーズに応じた内容を配信していきたいと考えています。

新しくなったプラネタリウムと実天観測と組み合わせることにより、

①教師や子どもたちの要望どおりに動かせるため、天気にも左右されない星や太陽の学習が教室でできます。

②宿泊時に活用すれば実際の星空観察と組み合わせたハイブリッドな授業が可能になります。

この画像は、今年の8月に職員がスマートフォンで撮影した、南の星空です。夏を代表する星座の蠍座と天の川が映っています。

3つ目の活動は、九重でしか得られない感動体験です。国立公園内にあるため街灯がありません。人家もありません。車が通らないのでヘッドライトの明かりもなく、安全に観察できます。夜空が暗く、星が明るく見えます。そして、投影機器が九州では九重にしか設置されていません。他県からファンの方が見に来られることもあります。先日は、佐賀県から見に来られました。

今後の予定としては、

①オンライン配信開始（1月入所の学校）

②「星の女子会」「県天文協会」とコラボで公開日や観察会で解説

③広報（市町村教委へチラシ配布、ホームページにて配信募集）

といったことを考えています。

プラネタリウムを十分に活用し、学校支援や工夫を凝らした体験活動を提供しながら、大分県の自然環境を愛し、その大切さを伝え守っていく県民を育てることが私たち職員の使命だと考えています。

（岡本教育長）

ご質問・ご意見はありませんか。

（鈴木委員）

私の息子が11月に宿泊体験で九重青少年の家を利用しました。私も7・8年前に中学生の部活の合宿で保護者として参加し、宿泊して楽しい時間を過ごしました。温泉にも入り、食事もととてもおいしかったのですが、当時は、宿泊した部屋の畳が少し古く、ささくれを痛く感じる状況でした。しかし、今回の息子が利用した際の写真を見ると、きれいに畳おもてが張られていて、快適に過ごせるように、きちんと手入れがされているようでした。息子は、食事がとにかく美味しく、量もすごく多かったと言っており、とても喜んで帰ってきました。本来の予定では香々地青少年の家に行く予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の状況により変更となりましたが、それでも十分に楽しんで帰ってきて、成長も見られましたので、本当に良かったと思っています。ありがとうございました。

（須股九重青少年の家所長）

ありがとうございます。当施設の職員に申し伝えたいと思います。

(高橋委員)

キャンプ場を併設されているようですが、キャンプ場の駐車場に車を置いて、そこから歩いて行くことになりますか。

(須股九重青少年の家所長)

キャンプ場の駐車場が狭いので、第二駐車場に車を止めていただきます。キャンプ場に荷物を置いてから、車を第二駐車場に移動していただくようになります。

(高橋委員)

スポーツ少年団などで合宿する場合は、20人や30人とかの人数での体育館は利用できますか。

(須股九重青少年の家所長)

もちろん利用できます。

(高橋委員)

小学生が利用する時、一泊あたり、どの程度の料金で泊まることができますか。

(須股九重青少年の家所長)

県内の小・中学生は無料です。食事代とシーツクリーニング代は必要になり、約1,800円になります。

(鈴木委員)

大人の利用料金も安かったです。あまりの安さに驚きました。

(岡本教育長)

かなり歴史のある施設ですので、改修を随時行っているところです。予算の状況を考えながら、できるところを改修していく計画を立てています。

(高橋委員)

スポーツだけではなく、子どもたちの教科の学習のヒントになると思うので、プラネタリウムを利用して星の観察なども教えていただいたら、良いのではないかと思います。

(林委員)

授業で「Zoom」を使って、大分市内の小学校から、プラネタリウムを実際に自分の教室で見ることができるということですか。授業において、どのような形で使えますか。

(須股九重青少年の家所長)

一つの大きな画面に配信することが可能です。さらに、子どもたちが持っているタブレット端末に配信することも可能ですが、学校の通信環境、データ使用可能容量によると思います。容量が少なければ1本だけになると思います。

(林委員)

実際のプラネタリウムの番組を見ることができるということですか。

(須股九重青少年の家所長)

番組を見ることができます。

(岩武委員)

宿泊棟の部屋数は38室のようですが、1部屋に4人しか入れないということで人数が随分と制限をされていると思います。施設の利用は、規模が小さな学校や小学生が中心になっていますか。

(須股九重青少年の家所長)

利用の制限については、大変申し訳なく思っています。例年、県立学校が毎年4月に利用しているのですが、今年度、170名と人数の多かった情報科学高校の利用をお断りしました。

(岩武委員)

そのような状況ですと、高校の利用は、なかなか難しいのでしょうか。

(岡本教育長)

来年度は少し期待ができると思います。

(岩崎委員)

少人数の場合、どれぐらいの人数から申し込みができますか。

(須股九重青少年の家所長)

1人からでも、もちろん可能です。ただ、1人だけだと食事の準備が難しいので、他の団体が入っていれば、1人からでも大丈夫です。

④ ビブリオバトル大分県大会について

(2課〔教育改革・企画課、社会教育課〕入室)

(岡本教育長)

次に、報告第4号「ビブリオバトル大分県大会について」社会教育課長から説明をしてください。

(後藤社会教育課長)

昨年10月第2回目の教育委員会会議において、読書を通しての青少年の健全育成について、何点か説明をしたところです。その中で、ビブリオバトル大会についての質問がありましたので、その大会について報告します。では、早速どのようなものかということを実際の映像で説明しますので、ご覧ください。

【 映像放送(2分) 】

では、資料の説明をします。今、ご覧いただいた映像は、第6回中学校大会の最優秀賞を受賞した別府西中学校の種子田 空里さんの作品でした。今回は、オンラインでの開催となりましたが、種子田さんは、図書館からこの大会に参加しています。

ビブリオバトルというのは、参加者同士でおすすめの本を紹介しあう本の紹介コミュニケーションゲームになります。期待される効果としては、参加者同士の相互理解、新しい本と出会うきっかけ作り、それからプレゼンテーション能力の向上などが考えられます。

ビブリオバトルの基本的な流れにつきましては、まず、「バトラー」と呼ばれる発表者が紹介する本を選書し、次に「バトラー」が5分間で本の紹介をします。そして、その後に、参加者全員によるディスカッション、それから最後にどの本が一番読みたくなったかを基準に投票して、「チャンプ本」を決定するという手順になります。

今年度の大分県大会は、新型コロナウイルス感染防止のため、11月21日にオンラインで開催しました。中学校の大会には、全県下から11校15名の参加がありました。15名を5名ずつ3組に分けて予選をして、各予選の代表3名で決勝を行いました。

高校大会には、25校35名が参加しました。5組7名ずつの予選の後、予選の代表5名による決勝を行いました。それぞれの大会で最優秀を受賞した生徒は、東京で開催される全国大会に出場する予定になっております。

新型コロナウイルス感染症がまん延している状況ですが、今のところ、高校大会は、無観客で1月末に実施する予定になっております。現在、ビブリオバトル大分県大会の参加者は、順調に、毎年、増加傾向にあります。特に、県立高校では、かなり浸透してきていると考えております。

今年度は、コロナ禍によりオンラインで開催しましたが、移動の削減や引率の手間がなくなったという意見も挙がってきております。しかしながら、前回の説明の際に、岩武委員からご指摘がありましたように、本来の目的を達成するため

に、是非、集合形式での大会に戻したいと考えています。ただ、参加者数がだんだん増えてきておりますので、中学生大会と高校生大会を別日の開催にして、もっと広く周知していきたいと考えております。

他の事業ともあわせまして、子どもたちの豊かな心の育成に向けて、読書活動を進めていきたいと考えております。

説明は、以上です。

(岡本教育長)

補足の情報として、高校生の県大会の出場校の内訳を見ますと、県立学校22校ということで、かなりの数になっております。社会教育課の担当者が県内の公立学校に声をかけて、出場校をどんどん増やしているという状況です。

担当者としての意見等ありましたら、お願いします。

(江藤主任〔社会教育課〕)

ありがとうございます。今、教育長が言われたとおり、ビブリオバトルに参加する学校が増えており、県立学校も私立学校も増加しております。また、中学校大会に出場した生徒が高校大会にも継続して出場している例もありまして、実は今回の高校大会で最優秀賞を受賞した生徒は、昨年度の中学校大会のチャンプでもあります。このまま取組が広まるように、担当者の私としても頑張っていこうと考えているところです。

(岡本教育長)

それでは、ご質問・ご意見はありませんか。

(林委員)

このような大会をするのはよいことだと思うのですが、先ほどの映像は、各学校で視聴できるのでしょうか。

(後藤社会教育課長)

是非、林委員のご発言があったことを学校の方にも伝えまして、校内でも視聴できるように環境を整えていきたいと思えます。

(林委員)

私自身、どのような本を読んだらよいかわからずに悩んだ経験がありますので、どのような本を読んだらよいのかというきっかけ作りが大切だと思います。多くの人に映像を見てもらい、そして、どのような効果が得られたかということが重要ではないかと考えます。

(岡本教育長)

それでは、先に非公開と決定しました議事を行います。その前に、公開でその他、何かありますか。

(岡本教育長)

では、非公開の議事を行いますので、傍聴人は退出してください。

【議 案】

第 1 号議案 令和 3 年度大分県教育実践者の表彰について

(1 課〔教育改革・企画課〕入室)

(岡本教育長)

それでは、第 1 号議案「令和 3 年度大分県教育実践者の表彰について」提案しますので、教育改革・企画課長から説明をしてください。

(説 明)

(岡本教育長)

ただ今説明のありました議案について、審議を行います。
ご質問・ご意見はありませんか。

(質問・意見)

(岡本教育長)

それでは、第 1 号議案の承認についてお諮りします。
承認される委員は挙手をお願いします。

(採 決)

(岡本教育長)

第 1 号議案については、提案のとおり承認します。

【協 議】

① 令和4年度学校栄養職員を対象とした栄養教諭採用選考試験について

(2課〔教育改革・企画課、教育人事課〕入室)

(岡本教育長)

次に、協議第1号「令和4年度学校栄養職員を対象とした栄養教諭採用選考試験について」教育人事課長から説明をしてください。

(説 明)

(岡本教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(質問・意見)

(岡本教育長)

それでは、今回の協議の結果を踏まえ、準備を進めていきます。

(岡本教育長)

最後にその他、何かありますか。

(岡本教育長)

それでは、これで令和3年度第19回教育委員会会議を閉会します。
ありがとうございました。